

# 米の基本指針（案）のポイント

## 1 27/28年の主食用米等の需給見通し

【基本指針（27年7月公表）】

		(単位：万トン)	
平成27年6月末民間在庫量	A	230	230
平成27年産主食用米等生産量	B	751 (生産数量目標)	739 (自主的取組参考値)
平成27/28年主食用米等供給量計	C = A + B	981	969
平成27/28年主食用米等需要量	D	770	770
平成28年6月末民間在庫量	E = C - D	211	199

注：自主的取組参考値（739万トン）については、仮にこれだけ生産すれば、平成28年6月末の民間在庫量が過去の平均水準に近づくこととなるものとして設定したもの。

【基本指針（27年11月公表）】

- ➡ 226万トン ①（民間在庫量が確定）
- ➡ 744万トン ②（27年10月15日現在の平成27年産米水稻の予想収穫量（主食用））
- ➡ 970万トン ③（①+②）
- ➡ 763万トン ④（相対取引価格の上昇が需要量に及ぼす影響を踏まえ必要な補正）
- ➡ 207万トン ⑤（③-④）

(参考) 相対取引価格の推移

26年産 11,979円/60kg (年産平均)	➡	27年産 13,108円/60kg (27年10月までの年産平均)
+1,129円		

## 2 28/29年の主食用米等の需給見通し

		(単位：万トン)	
平成28年6月末民間在庫量	A	207	207
平成28年産主食用米等生産量	B	743 (生産数量目標)	735 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C = A + B	950	942
平成28/29年主食用米等需要量	D	762	762
平成29年6月末民間在庫量	E = C - D	188	180

注：平成28/29年主食用米等需要量については、現時点で価格の状況を見通すことが困難であるため、価格の変動が生じた場合の需要量への影響は見込んでいない。

全国の生産数量目標については、引き続き、需要に応じた生産を推進するため、予見可能性という観点にも留意し、近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万トン減少していることを勘案し、昨年(27年)産米の生産数量目標751万トンから8万トンを控除した743万トンと設定

全国の自主的取組参考値については、仮にこれだけ生産すれば、29年6月末の民間在庫量が近年では低位の水準となるものとして735万トンと設定

(参考) 6月末民間在庫量の推移 (単位：万トン)

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
民間在庫量	212	216	181	180	224	220	226

8/9年から26/27年までの需要実績を用いて、従前通り、トレンドで算出した762万トンと見通す